

平成21年度 自己評価書

鈴鹿市立鈴西小学校		達成状況	成果と課題	今後の改善点
評価項目	本年度の活動と指標			
学力保障	授業改善 授業研究	①年間必ず1回は授業研究を行い、聞く・話す・読む・書くをバランスよく取り入れ、わかる楽しい授業で子どもの意欲を高める。 ②教えたことが身に付いているかをC R Tなどで検証し分析する。	B ○教材開発ができたものもあるが、日常的、継続的に持続できなかった。 ○C R Tの結果から児童の苦手な分野もチェックし授業改善に生かしたい。	○よくわかる授業のための視覚的な教材づくりを進めたい。 ○C R Tの結果の分析を研修部で取り組んでいきたい。
	補充学習	③朝の学習で10分間取り組む。 ④夏休み中に補充学習を行う。	B ○朝の学習は習慣化され、落ち着いて取り組め定着している。 ○補充学習については安全面で低学年ではむずかしい。 ○百マスや読み聞かせの取組はとてもよかった。	○内容をさらに見直していきたい。 ○学習アンケートを取っていききたい。 ○百マスの取組は継続していきたい。
	少人数教育	⑤内容によって、2クラスにしたりチームティーチングにしたりして学習効果を高める。場合によっては、習熟度別で進めることもある。子どもからアンケートを取り成果の状況を把握する。	B ○チームで教えることで子どもたちを支える機会は多くつくれた。 ○チームティーチングで支援の必要な児童にきめ細かな対応ができた。 ○少人数で2クラスに分けてもらったので、一人ひとりによく目が行き届くようになった。 ○内容により2クラス制とT T制にできてよかった。	○どんな場面で、どんなことを、どのようにサポートするかの整理する。 ○教室を確保し、少人数授業が習熟度でもできるようにしていきたい。
	学習ボランティアの活用	⑥技術的な支援や人的援助がいるものから各クラス複数入ってもらう。 ⑦ゲストティーチャーを学期2回は招聘する。学習と結びついたものを選ぶ。	B ○出会い学習から学ぶことは多かった。 ○たくさんさんのゲストティーチャーにお世話になり、貴重な経験ができた。	○学習ボランティアを必要な時に活用していきたい。 ○継続的な出会いの学習を構築していきたい。
学力保障	家庭学習の習慣化	⑧学年に応じた家庭学習に取り組み、実施率95%以上を達成します。 (1年:10分, 2年:20分, 3年:30分, 4年:40分, 5年:50分, 6年:60分)	B ○意思統一はできたがまだ徹底されていない。 ○宿題の内容・量はよくなっているが、しているという点ではまだ達成されていない。	○家庭の協力・呼びかけ、だれでも楽しくできる宿題。 ○強化月間(旬間)等を設定して意識化する。
	読書活動	⑨読書を盛んにし一人年間30冊以上を目指す。(全校で7000冊)	B ○学年や担任によって取組にばらつきがある。 ○計冊数は達成できるが個人差が大きい。	○図書時間の確保 ○担任からの声掛けを継続的にする。 ○図書の新刊等を読み聞かせする。

生活指導	あいさつ運動	① 95%以上の子が大きな声であいさつできる。	C	○児童会等で取り組んでいるが不十分。 ○あいさつの声が小さい。 ○自分から進んでなかなかできない。	○安心して出せる環境と声出しの練習。 ○繰り返しの声掛け。
	避難訓練	② 避難訓練を年2回行う。1回目は出来るだけ早く行い、教室から担任が誘導する。2回目は引き渡し訓練を同時に行う。	A	○避難方法には課題がある。(けがをしている児童など) ○引き渡し訓練は去年度より改善されて良かった。	○事前通知なしの休み時間中の訓練をやることも必要。 ○危機感をもたせる行動訓練も必要。
	安全安心	③ 児童全員に笛・ブザーを首から下げさせる。時々練習させる。 ④ 通学路の点検を年1回はおこなう。安全マップを作成し、共通理解を図る。地区委員とも連携する。 ⑤ 防犯教室を行い、教室に侵入した時通学路で連れ去られる時などの指導をする。	B	○子どもたちに意識はあるが、日常的にできていない。 ○一斉下校の時にホイッスルを忘れていないか点検し、身につけるよう指導しているのがよい。 ○ほぼ達成しているが練習はしていない。	○笛やブザーを点検したり、練習したりして意識させていきたい。 ○必要に応じて活動計画を立てて実践していく。
	生活習慣	⑥ 毎日のテレビ・ゲームの時間を合わせて2時間以下にする。	C	○学級通信等でいつも啓発しているが、実態は土日など長時間やっている。	○保護者への協力を呼び掛けたい。 ○生活リズムの見直しを図りたい。